

こんにちは

日本共産党市会議員団です

2019年 2月 NO253

日本共産党綾部市会議員団発行

綾部市若竹町 綾部市役所内

電話42 - 3280 内線208

ホームページhttp://www.jcp-ayabe.jp/



消防署前にて
左から中島・搦頭・井田・吉崎の各議員

「避難所の安全」再点検を

井田 佳代子議員



【質問】綾部中学校の体育館に避難された方が、トイレに行こうとしてグラウンドのバックネット裏にある溝で転倒された。足腰を強打し、雨に濡れながら職員に見送られるまで起き上がることができず、後になつて骨折されていたことがわかった。その原因は、①通路にあった照明が点灯されていなかったため、溝があることがわからなかった。

②体育館東側の多目的トイレや隣接する格技室などのトイレがあるにもかかわらず、鍵がかかっていなかったため使用できなかった。この件から、すべての避難所で、あらためて安全点検をすることが必要と考えるがどうか。

【答弁】十分な配慮がなかったため、避難所でケガをされた方には、大変申し訳なく思っている。避難所での安全確保は重要と

考えており、事故の後、避難所やトイレの場所、照明などを施設の管理者と確認し、すでに改善を行った。綾部市では格技室のトイレを使用できるようにした。

【質問】避難所の安全確認は、担当者の個人の判断に任せるのではなく、一定の基準が必要ではないか。

【答弁】統一した基準はないが、避難所は施設の状態を十分把握した職員が担当している。施設ごとに環境も違っており、施設管理者と情報共有し、安全な誘導に努めたい。

※通路にある照明が点灯していれば防げた事故です。担当者の判断によらない安全基準が必要なのではないでしょうか。

条例改正

下水道の公営企業化 料金引き上げにつながるのではないか

国は下水道事業についても「地方公営企業法」を採用することを求め、公共下水・農業集落排水・特定地域生活排水について移行する条例が提案されました。（平成31年4月から）

立採算制であることから経営意識の向上という4点をあげています。

公営企業法適用、国の方針で問題となることは

市が説明する「効果」は、▼財政状況の確かな把握で経営基盤の強化▼他市との比較が見える化が進む▼独

①国は受益者負担の原則を徹底し「原則として使用料で下水道の経費をまかなうこと」とし、国庫補助金の削減や廃止が危惧される。

②財源不足を補填するための一般会計からの基準外繰入れ

「経営意識の向上」が現在なせてできないのか。企業会計導入で民間産業が入りやすくなるのではないかなど、誰にとっての「効果」か疑問です。

③国は広域化を推進するが課題解決（人口減少・施設老朽化等）につながらず、特に災害時のリスクが大きい。（地域分散型を災害に強い）

④資産の取得や処分について議会の議決を要さないなど、議会の関与とチェック機能が弱くなる。今回の条例提案は、国の水道「民営化」に伴うものであり、今後、使用料の大幅な引き上げが予測されます。

以上から関連する条例を含め反対をしました。

が制限される。

現況は、クラス担任をしながら、司書資

2019年度予算要求 7分野60項目の申し入れ



副市長は懇談のなかで「災害復旧などで財政が厳しい中だが、国や府に必要なことは言い、議員団からの申し入れについては検討したい。」と回答しました。

12月議会に提出された請願

- ①給食費の無償を求める請願
- ②副教材費の無償を求める請願
- ③学校図書館に司書の配置を求める請願

提出者 綾部教職員組合

日本共産党のみ賛成で否決されました。

理由は次のとおりです。

①給食費の無償を求める請願
給食費の負担割合は決められておらず、文部省(当時)の「負担割合は地域の実情に応じて」という通達により、綾部市は、水光熱費を含めて17年しんぶん赤旗調査で、給食費無料は83市町村、一部補助は362市町村で実施されている。国も「給食は教育、生きた教材として各教科において活用されるように」としている。子育て応援をかける綾部市として、現状は、クラス担任をしながら、司書資

②副教材費の無償を求める請願
副教材費の8割が学力向上のためのテキストやドリル。「教育は無償」の観点から、リコーターや実験教材など個人の所有物になるもの以外は無償化とするべき。

③学校図書館に司書の配置を求める請願
学校図書館の重要な役割は、授業で活用する本や資料を提供することや、授業で学んだことを確かめ、広げ、深めるなど、児童生徒の主体的な学習活動を支援すること。

他の会派が請願に反対された理由は次の通りです。
「食料費は保護者負担と定められている」
「教育費無償の範囲は、最高裁で授業料を徴収しないことと判決が出ている」
「司書教諭は国基準以上に配置されている」
「綾部は全国学力テストでもレベルが高く、学力の心配は不要だ」

原発・安定ヨウ素剤に対する市の姿勢は

中島 祐子議員

【質問】原発に対する綾部市の姿勢は。

【答弁】地震の多い日本で、原子力発電が最適なエネルギーとは言えず、可能な限り原発依存度を下げていくべきだが、すぐに原子力発電所をゼロにするのは暮らしてや産業、経済にも大きな影響を与える。

【質問】綾部市における安定ヨウ素剤(以下、ヨウ素剤)の備蓄の状況は。

【答弁】原発から300*圏内の市民の分として、綾部市立病院、上林のいきいきセンターに備蓄している。また、ヨウ素剤は被爆前に飲むのが最も効果的で、被ばく8時間後では40%、24時間後では70%の抑制効果しかないと言われている。緊急時モニタリングで放射能を計測してからの避難の準備をして配布する現在の計画では、福島原発事故の実例からみても、服用が遅れる可能性が高いのではないかと。他市ではすでに事前配布を行っている例もある。綾部市民全員を対象とした事前配布の検討はどうか。

【質問】事前配布では誤飲のリスクや3年ごとに交換が必要となるヨウ素剤は早く飲みすぎても効果が低く、被ばく2時間以内であれば80%の抑制効果があるといわれている。避難をされる段階で早く服用いただくというのが妥当であるかどうかを求めている。

【質問】新聞報道では、「水道事業の広域連携を図るため、府内3圏に協議会を設ける」とあるが、北部圏域に入る綾部市の今後の方向、計画はどうか。

【答弁】自治体が水道事業の認可や施設を保有したまま、水道施設の運営権を民間事業者に設定する仕組みがコンセッション方式で、水道法改正で新たに規定された。官民連携の手法であり、事業責任は自治体を持ち、水道民営化ではないと理解している。



上水道民営化に対する見解は

搦頭 久美子議員

【質問】災害に強いまちには広域化より分散型だ。そして水道事業は、「公共の福祉の増進」が本来の目的であり、その点を行政として守るべきと求めました。

【質問】「水道事業の広域化やコンセッション方式を推進する改定水道法が国会で強行採決されました。」

【答弁】自治体が水道事業の認可や施設を保有したまま、水道施設の運営権を民間事業者に設定する仕組みがコンセッション方式で、水道法改正で新たに規定された。官民連携の手法であり、事業責任は自治体を持ち、水道民営化ではないと理解している。

【質問】「水道事業の広域連携を図るため、府内3圏に協議会を設ける」とあるが、北部圏域に入る綾部市の今後の方向、計画はどうか。

【答弁】自治体が水道事業の認可や施設を保有したまま、水道施設の運営権を民間事業者に設定する仕組みがコンセッション方式で、水道法改正で新たに規定された。官民連携の手法であり、事業責任は自治体を持ち、水道民営化ではないと理解している。



災害復旧工事に全力を上げること

吉崎 久議員

【質問】市道高津旭線土砂崩落災害の復旧工事の工法や工期はどうなっているか。

【答弁】工事内容は、道路際から約5.5m山側に、高さ6.6m・長さ約6.7mの防護擁壁を設置。その山側には3千立方分の土砂だまりを設ける工法。工期は約9ヶ月を予定。

【質問】この工事で再度土砂崩落が発生しても、道路への土砂流出は防げるか。

【答弁】現地調査の結果、山の法面に残っている土砂は3千立方分であり、対応できると

【質問】昨年(2018)の台風による災害復旧工事の進捗は。

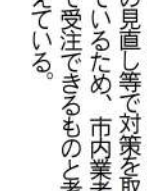
【問弁】土木・農林とも30年度内には全て完了予定。

【質問】7月豪雨災害の農林災害復旧工事のうち、31年度作付けとの関係でその見通しはどうか。

【質問】私市町森本川(市管理河川)は、ため池からの排水が高速道の雨水排水が処理されるが、今回の豪雨では高速道の排水処理が現状の排水路では容量を超えており、車線幅が一層危険性がある。河川改修と合わせ、「ネクスト西日本」の十分な協議を行う、必要な負担も求めるべきだが。

【質問】災害の多発や災害規模の拡大で、資材不足や請け負う業者不足で入札しても不調になるケースが近隣市で生まれているが、

【質問】26年度には不調のケースもあつたが、現在では発注単位の見直し等で対策を取っているため、市内業者で受注できるものと考えている。



12月議会 各議員の賛否の態度

| 議員名 | 一般質問の有無 | ① ② ③ | | |
|-------|---------|-------|----|----|
| | | 賛成 | 反対 | 賛成 |
| 日本共産党 | 搦頭久美子 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| | 吉崎 久 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| | 井田佳代子 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| | 中島 祐子 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| 民政会 | 安藤和明 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| | 種清喜之 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| | 片岡英晃 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| | 本田文夫 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| | 酒井裕史 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| 創政会 | 荒木敏文 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| | 渡辺弘造 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| | 柳原秀一 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| | 梅原哲史 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| 新政会 | 村上宣弘 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| 心友会 | 塩見麻理子 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| 副議長 | 森 義美 | ○ | 賛成 | 賛成 |
| | 議長 | 高橋 輝 | ○ | 賛成 |

3月議会は、3月1日(金)から3月27日まで。一般質問 3月10日(日)、11日(月)、12日(火) 3月10日は日曜議会です。ぜひ傍聴にお越しください。

左記一覧表の議案内容

- ①平成30年度一般計補正予算案 条例改正
 - 7月豪雨・台風による災害復旧事業費など・農地73カ所、農業用施設98カ所、5億1800万円、林道44カ所
- ②下水道事業に地方公営企業法を適用するための関連条例改正(12議案)
- ③教育をよくするため(の請願3件(二面参照))

●意見書「下水道施設の改築国庫補助継続を求める」全会一致で可決。